

令和8年度 年間授業計画

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：4

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	新編 数学Ⅱ (数研出版)
	補助教材：	SUKEN NOTEBOOK 基本と演習テーマ 数学Ⅱ 完成ノート (数研出版)

教科（ 数学 ）の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目（ 数学Ⅱ ）の目標

【知識及び技能】	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

令和8年度 年間授業計画 科目（ 数学Ⅱ ）

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当時数
単元 式と計算、等式の証明	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能				
二項定理を理解させ、一般項の概念を身につける。	式と計算、等式の証明	二項定理の仕組みを理解する。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
二項定理の一般項を理解させ、展開式の作り方を理解させる。	教科書、問題集	一般項の使い方を理解し、特定の項の係数を求めることができる。	○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
乗法公式の仕組みを学ぶことにより丸暗記をしていたことが説明できることを理解させる。	宿題ポスト	乗法公式の仕組みを理解する。				
単元 複素数の計算	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能				
基本的な複素数の計算ができるようにする。	複素数の計算	基本的な複素数の計算ができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
複素数の計算の内容をより深く、思考力を養う。	教科書、問題集	複素数の計算の内容をより深く、論理的思考をしようとしている。	○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
複素数の計算を学ぼうと意欲的に向かう力を養う。	オンライン授業	複素数の計算を意欲的に学ぼうという姿勢がある。				
定期考査（中間考査）/返却と解説			○	○	○	2
単元 2次方程式、高次方程式	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能				
2次方程式が全て解けるようになる。基本的な高次方程式の計算ができるようにする。	2次方程式、高次方程式	基本的な高次方程式の計算ができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
高次方程式の内容をより深く、思考力を養う。	教科書、問題集	高次方程式の内容をより深く、論理的思考をしようとしている。	○	○	○	15
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
高次方程式を学ぼうと意欲的に向かう力を養う。	解答、解説の提示	高次方程式の解き方を意欲的に学ぼうという姿勢がある。				
単元 図形と方程式	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能				
基本的な図形と方程式の定理が理解でき、知識を身に付ける。	図形と方程式	図形と方程式の定理が理解でき、知識を身に付けようとしている。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
図形と方程式の内容をより深く、思考力を養う。	教科書、問題集	図形と方程式の内容を深く、論理的思考をしようとしている。	○	○	○	15
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
図形と方程式の内容を学ぼうと意欲的に向かう力を養う。また、生活に活用しようとする姿勢を育む。	解答、解説の提示	図形と方程式の内容を学ぼうと意欲的に向かい、生活に活用しようとする。				
定期考査（期末考査）/返却と解説			○	○	○	2

1
学
期

令和8年度 年間授業計画 科目(数学Ⅱ)

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2 学 期	単元	円の方程式	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			8
	知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○	
	基本的な円の方程式の定義が理解でき、知識を身に付ける。	円の方程式	円の方程式の定義が理解でき、知識を身に付けようとしている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	円の方程式の内容をより深く、思考力を養う。	教科書、問題集	円の方程式の内容を深く、論理的思考をしようとしている。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
円の方程式の内容を学ぼうと意欲的に向かう力を養う。また、生活に活用しようとする姿勢を育む。	模擬テスト	円の方程式の内容を学ぼうと意欲的に向かい、生活に活用しようとする。					
単元	三角関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			22	
知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○		
三角関数の基本的な公式について理解する。	三角関数	三角関数の基本的な公式を理解しようとしている。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
三角関数の公式を論理的に用いて、思考力を伸ばす。	教科書、問題集	三角関数の公式を論理的に用いて、論理的思考をしようとしている。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
三角関数の内容を学ぼうと意欲的に向かう力を養う。また、三角関数を生活に活用しようとする姿勢を育む。	模擬テスト	三角関数の内容を学ぼうと意欲的に向かい、生活に活用しようとする。					
定期考査(中間考査)/返却と解説				○	○	○	2
単元	指数関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			13	
知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○		
指数関数の基本的な公式について理解する。	指数関数	指数関数の基本的な公式を理解しようとしている。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
指数関数の公式を論理的に用いて、思考力を伸ばす。	教科書、問題集	指数関数の公式を論理的に用いて、思考力を伸ばそうとしている。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
指数関数の内容を学ぼうと意欲的に向かう力を養う。また、指数関数を生活に活用しようとする姿勢を育む。	解答、解説の提示	指数関数の内容を学ぼうと意欲的に向かい、生活に活用しようとする。					
単元	対数関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			13	
知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○		
対数関数の基本的な公式について理解する。	対数関数	対数関数の基本的な公式を理解しようとしている。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
対数関数の公式を論理的に用いて、思考力を伸ばす。	教科書、問題集	対数関数の公式を論理的に用いて、思考力を伸ばそうとしている。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
対数関数の内容を学ぼうと意欲的に向かう力を養う。また、対数関数を生活に活用しようとする姿勢を育む。	解答、解説の提示	対数関数の内容を学ぼうと意欲的に向かい、生活に活用しようとする。					
定期考査(期末考査)/返却と解説				○	○	○	2

令和8年度 年間授業計画 科目（ 数学Ⅱ ）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当時数
3 学 期	単元 積分	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	16
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	積分の基本事項を理解し、知識を身に付ける。	積分	積分の基本事項を理解し、知識を身に付けようとしている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	積分の考え方を利用し、グラフを用いて思考力を鍛える。	教科書、問題集	積分の考え方を利用し、グラフを用いて思考力を鍛えようとしている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	積分を学ぼうとし、生活に活用しようとする態度を養う。	解答、解説の提示	積分を学ぼうとし、生活に活用しようとする。				
	単元 積分	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	積分の基本事項を理解し、知識を身に付ける。	積分	積分の基本事項を理解し、知識を身に付けようとしている。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
積分の考え方を利用し、グラフを用いて思考力を鍛える。	教科書、問題集	積分の考え方を利用し、面積を用いて思考力を鍛えようとしている。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
積分を学ぼうとし、生活に活用しようとする態度を養う。	解答、解説の提示	積分を学ぼうとし、生活に活用しようとする。					
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○	○	2
合計							140